

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410033	XYY1410033			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
PBL（経営）K1	高木 義和	1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース（26年度以降）	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース（26年度以降）	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース（25年度）	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース（25年度）	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科（24年度以前）	×	×	×

授業目的

今や情報として必須の地図情報を組込んだ「主題地図コンテンツ作成計画書」を各グループにて作成し、「仕様に沿ったコンテンツ作成」という課題解決型学習を計画書のスケジュールに沿って行う。

不特定多数用のいわゆる「ガイドマップ」コンテンツ開発はできる限り避け、クライアントと使用目的を明確にした成果物の納品を最終目的とする。クライアントにどのような利益がもたらされるのか、コンペにて他グループの評価を受け、何度も計画をやり直すプロセスを演習の中心とする。

各クラス毎に5～6名のグループを構成する。グループごとに主題地図アプリ作成についての作業計画を作成し、必要な現地調査、主題地図アプリの制作、成果発表および報告書の作成を行う。

各グループでは役割分担を決め、目的に沿って作業および企画の修正を行なう。

また、進捗管理、成果についてはプレゼンや報告書等のドキュメントを作成する。これにより、現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する。

各回毎の授業内容

第1回

【授】履修ガイダンス（後期の履修科目の確認）

【前・後】事前：履修計画の作成。事後：履修計画の確認および履修登録。

第2回

【授】演習の内容説明。グループ分けと会社設立、企画書草案作成

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：template fileとメンバーの確認。

第3回

【授】チームビルディング：キックオフ、目的確認、役割分担、プロジェクト計画作成

【前・後】事後：プロジェクトの目的と役割の確認。プロジェクト計画の作成。

第4回

【授】プロジェクト計画の発表：グループ毎に発表し企画概要コンペ。他グループからの評価を受ける。

【前・後】事前：プロジェクト計画発表の準備。

第5回

【授】プロジェクト活動：サブページ試作品コンペ

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第6回

【授】プロジェクト活動：マップ作成・現地調査計画作成

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第7回

【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第8回

【授】中間報告発表：グループ毎中間プレゼンコンペ。他グループからの評価を受ける。

【前・後】事前：中間報告の準備。時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第9回

【授】プロジェクト活動：コンペ結果による改善計画をグループ毎に発表

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第10回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第11回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第12回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。最終成果発表の準備。

第13回

【授】最終コンペの発表準備、他社にはない特徴等アピールする

【前・後】事前：最終成果発表の準備。

第14回

【授】最終成果発表：成果物と企画の最終コンペ、教員による諸評

【前・後】事後：各自で内容の復習。

第15回

【授】夏期セミナーおよびキャリア開発に関するガイダンス。日程は前後する場合があります。

【前・後】事後：各自で内容の復習。

第16回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	10	10	10		50
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	5	5	5	10			25
成果発表（口頭・実技）	5	5	5	5	5		25
演習							
その他							

個人の評価 50%（参加姿勢 25%, 提出するドキュメント 25%）、チームの評価 50%（提出するドキュメント 25%, 成果および発表 25%）とする。

教科書参考書

テキストおよびテンプレートファイルは最初の授業時に配布する。必要な資料もその都度配布する。

受講に当たっての留意事項

・演習の出席が単位認定の必須条件となる

・授業時間の他にプロジェクト活動にある程度の時間をかけなければならない場合がある

学習到達目標

・プロジェクト活動について理解し、グループとしてプロジェクト計画を作成し、それにそって活動をし、一定の成果を提出する（グループで作成するドキュメントにより評価：50%）

・プロジェクト活動に参加することにより、チームで協力して設定した問題を解決し目標を達成していく手法を修得する（個人で作成するドキュメントにより評価：50%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410033	XYY1410033			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
PBL（経営）K2	藤田 晴啓	1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース（26年度以降）	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース（26年度以降）	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース（25年度）	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース（25年度）	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科（24年度以前）	×	×	×

授業目的

今や情報として必須の地図情報を組込んだ「主題地図コンテンツ作成計画書」を各グループにて作成し、「仕様に沿ったコンテンツ作成」という課題解決型学習を計画書のスケジュールに沿って行う。

不特定多数用のいわゆる「ガイドマップ」コンテンツ開発はできる限り避け、クライアントと使用目的を明確にした成果物の納品を最終目的とする。クライアントにどのような利益がもたらされるのか、コンペにて他グループの評価を受け、何度も計画をやり直すプロセスを演習の中心とする。

各クラス毎に5～6名のグループを構成する。グループごとに主題地図アプリ作成についての作業計画を作成し、必要な現地調査、主題地図アプリの制作、成果発表および報告書の作成を行う。

各グループでは役割分担を決め、目的に沿って作業および企画の修正を行なう。

また、進捗管理、成果についてはプレゼンや報告書等のドキュメントを作成する。これにより、現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する。

各回毎の授業内容

第1回

【授】履修ガイダンス（後期の履修科目の確認）

【前・後】事前：履修計画の作成。事後：履修計画の確認および履修登録。

第2回

【授】演習の内容説明。グループ分けと会社設立、企画書草案作成

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：template fileとメンバーの確認。

第3回

【授】チームビルディング：キックオフ、目的確認、役割分担、プロジェクト計画作成

【前・後】事後：プロジェクトの目的と役割の確認。プロジェクト計画の作成。

第4回

【授】プロジェクト計画の発表：グループ毎に発表し企画概要コンペ。他グループからの評価を受ける。

【前・後】事前：プロジェクト計画発表の準備。

第5回

【授】プロジェクト活動：サブページ試作品コンペ

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第6回

【授】プロジェクト活動：マップ作成・現地調査計画作成

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第7回

【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第8回

【授】中間報告発表：グループ毎中間プレゼンコンペ。他グループからの評価を受ける。

【前・後】事前：中間報告の準備。時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第9回

【授】プロジェクト活動：コンペ結果による改善計画をグループ毎に発表

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第10回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第11回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第12回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。最終成果発表の準備。

第13回

【授】最終コンペの発表準備、他社にはない特徴等アピールする

【前・後】事前：最終成果発表の準備。

第14回

【授】最終成果発表：成果物と企画の最終コンペ、教員による諸評

【前・後】事後：各自で内容の復習。

第15回

【授】夏期セミナーおよびキャリア開発に関するガイダンス。日程は前後する場合があります。

【前・後】事後：各自で内容の復習。

第16回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	10	10	10		50
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	5	5	5	10			25
成果発表（口頭・実技）	5	5	5	5	5		25
演習							
その他							

個人の評価 50%（参加姿勢 25%, 提出するドキュメント 25%）、チームの評価 50%（提出するドキュメント 25%, 成果および発表 25%）とする。

教科書参考書

テキストおよびテンプレートファイルは最初の授業時に配布する。必要な資料もその都度配布する。

受講に当たっての留意事項

・演習の出席が単位認定の必須条件となる

・授業時間の他にプロジェクト活動にある程度の時間をかけなければならない場合がある

学習到達目標

・プロジェクト活動について理解し、グループとしてプロジェクト計画を作成し、それにそって活動をし、一定の成果を提出する（グループで作成するドキュメントにより評価：50%）

・プロジェクト活動に参加することにより、チームで協力して設定した問題を解決し目標を達成していく手法を修得する（個人で作成するドキュメントにより評価：50%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410033	XYY1410033			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
PBL（経営）K3	岸野 清孝	1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース（26年度以降）	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース（26年度以降）	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース（25年度）	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース（25年度）	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科（24年度以前）	×	×	×

授業目的

今や情報として必須の地図情報を組込んだ「主題地図コンテンツ作成計画書」を各グループにて作成し、「仕様に沿ったコンテンツ作成」という課題解決型学習を計画書のスケジュールに沿って行う。

不特定多数用のいわゆる「ガイドマップ」コンテンツ開発はできる限り避け、クライアントと使用目的を明確にした成果物の納品を最終目的とする。クライアントにどのような利益がもたらされるのか、コンペにて他グループの評価を受け、何度も計画をやり直すプロセスを演習の中心とする。

各クラス毎に5～6名のグループを構成する。グループごとに主題地図アプリ作成についての作業計画を作成し、必要な現地調査、主題地図アプリの制作、成果発表および報告書の作成を行う。

各グループでは役割分担を決め、目的に沿って作業および企画の修正を行なう。

また、進捗管理、成果についてはプレゼンや報告書等のドキュメントを作成する。これにより、現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する。

各回毎の授業内容

第1回

【授】履修ガイダンス（後期の履修科目の確認）

【前・後】事前：履修計画の作成。事後：履修計画の確認および履修登録。

第2回

【授】演習の内容説明。グループ分けと会社設立、企画書草案作成

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：template fileとメンバーの確認。

第3回

【授】チームビルディング：キックオフ、目的確認、役割分担、プロジェクト計画作成

【前・後】事後：プロジェクトの目的と役割の確認。プロジェクト計画の作成。

第4回

【授】プロジェクト計画の発表：グループ毎に発表し企画概要コンペ。他グループからの評価を受ける。

【前・後】事前：プロジェクト計画発表の準備。

第5回

【授】プロジェクト活動：サブページ試作品コンペ

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第6回

【授】プロジェクト活動：マップ作成・現地調査計画作成

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第7回

【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第8回

【授】中間報告発表：グループ毎中間プレゼンコンペ。他グループからの評価を受ける。

【前・後】事前：中間報告の準備。時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第9回

【授】プロジェクト活動：コンペ結果による改善計画をグループ毎に発表

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第10回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第11回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第12回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。最終成果発表の準備。

第13回

【授】最終コンペの発表準備、他社にはない特徴等アピールする

【前・後】事前：最終成果発表の準備。

第14回

【授】最終成果発表：成果物と企画の最終コンペ、教員による諸評

【前・後】事後：各自で内容の復習。

第15回

【授】夏期セミナーおよびキャリア開発に関するガイダンス。日程は前後する場合があります。

【前・後】事後：各自で内容の復習。

第16回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	10	10	10		50
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	5	5	5	10			25
成果発表（口頭・実技）	5	5	5	5	5		25
演習							
その他							

個人の評価 50%（参加姿勢 25%, 提出するドキュメント 25%）、チームの評価 50%（提出するドキュメント 25%, 成果および発表 25%）とする。

教科書参考書

テキストおよびテンプレートファイルは最初の授業時に配布する。必要な資料もその都度配布する。

受講に当たっての留意事項

- ・演習の出席が単位認定の必須条件となる

- ・授業時間の他にプロジェクト活動にある程度の時間をかけなければならない場合がある

学習到達目標

- ・プロジェクト活動について理解し、グループとしてプロジェクト計画を作成し、それにそって活動をし、一定の成果を提出する（グループで作成するドキュメントにより評価：50%）

- ・プロジェクト活動に参加することにより、チームで協力して設定した問題を解決し目標を達成していく手法を修得する（個人で作成するドキュメントにより評価：50%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410033	XYY1410033			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
PBL（経営）K4	佐々木 桐子	1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース（26年度以降）	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース（26年度以降）	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース（25年度）	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース（25年度）	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科（24年度以前）	×	×	×

授業目的

今や情報として必須の地図情報を組込んだ「主題地図コンテンツ作成計画書」を各グループにて作成し、「仕様に沿ったコンテンツ作成」という課題解決型学習を計画書のスケジュールに沿って行う。

不特定多数用のいわゆる「ガイドマップ」コンテンツ開発はできる限り避け、クライアントと使用目的を明確にした成果物の納品を最終目的とする。クライアントにどのような利益がもたらされるのか、コンペにて他グループの評価を受け、何度も計画をやり直すプロセスを演習の中心とする。

各クラス毎に5～6名のグループを構成する。グループごとに主題地図アプリ作成についての作業計画を作成し、必要な現地調査、主題地図アプリの制作、成果発表および報告書の作成を行う。

各グループでは役割分担を決め、目的に沿って作業および企画の修正を行なう。

また、進捗管理、成果についてはプレゼンや報告書等のドキュメントを作成する。これにより、現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する。

各回毎の授業内容

第1回

【授】履修ガイダンス（後期の履修科目の確認）

【前・後】事前：履修計画の作成。事後：履修計画の確認および履修登録。

第2回

【授】演習の内容説明。グループ分けと会社設立、企画書草案作成

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：template fileとメンバーの確認。

第3回

【授】チームビルディング：キックオフ、目的確認、役割分担、プロジェクト計画作成

【前・後】事後：プロジェクトの目的と役割の確認。プロジェクト計画の作成。

第4回

【授】プロジェクト計画の発表：グループ毎に発表し企画概要コンペ。他グループからの評価を受ける。

【前・後】事前：プロジェクト計画発表の準備。

第5回

【授】プロジェクト活動：サブページ試作品コンペ

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第6回

【授】プロジェクト活動：マップ作成・現地調査計画作成

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第7回

【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第8回

【授】中間報告発表：グループ毎中間プレゼンコンペ。他グループからの評価を受ける。

【前・後】事前：中間報告の準備。時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第9回

【授】プロジェクト活動：コンペ結果による改善計画をグループ毎に発表

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第10回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第11回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第12回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。最終成果発表の準備。

第13回

【授】最終コンペの発表準備、他社にはない特徴等アピールする

【前・後】事前：最終成果発表の準備。

第14回

【授】最終成果発表：成果物と企画の最終コンペ、教員による諸評

【前・後】事後：各自で内容の復習。

第15回

【授】夏期セミナーおよびキャリア開発に関するガイダンス。日程は前後する場合があります。

【前・後】事後：各自で内容の復習。

第16回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	10	10	10		50
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	5	5	5	10			25
成果発表（口頭・実技）	5	5	5	5	5		25
演習							
その他							

個人の評価 50%（参加姿勢 25%, 提出するドキュメント 25%）、チームの評価 50%（提出するドキュメント 25%, 成果および発表 25%）とする。

教科書参考書

テキストおよびテンプレートファイルは最初の授業時に配布する。必要な資料もその都度配布する。

受講に当たっての留意事項

- ・演習の出席が単位認定の必須条件となる

- ・授業時間の他にプロジェクト活動にある程度の時間をかけなければならない場合がある

学習到達目標

- ・プロジェクト活動について理解し、グループとしてプロジェクト計画を作成し、それにそって活動をし、一定の成果を提出する（グループで作成するドキュメントにより評価：50%）

- ・プロジェクト活動に参加することにより、チームで協力して設定した問題を解決し目標を達成していく手法を修得する（個人で作成するドキュメントにより評価：50%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410033	XYY1410033			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
PBL（経営）K5	山下 功	1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース（26年度以降）	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース（26年度以降）	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース（25年度）	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース（25年度）	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科（24年度以前）	×	×	×

授業目的

今や情報として必須の地図情報を組込んだ「主題地図コンテンツ作成計画書」を各グループにて作成し、「仕様に沿ったコンテンツ作成」という課題解決型学習を計画書のスケジュールに沿って行う。

不特定多数用のいわゆる「ガイドマップ」コンテンツ開発はできる限り避け、クライアントと使用目的を明確にした成果物の納品を最終目的とする。クライアントにどのような利益がもたらされるのか、コンペにて他グループの評価を受け、何度も計画をやり直すプロセスを演習の中心とする。

各クラス毎に5～6名のグループを構成する。グループごとに主題地図アプリ作成についての作業計画を作成し、必要な現地調査、主題地図アプリの制作、成果発表および報告書の作成を行う。

各グループでは役割分担を決め、目的に沿って作業および企画の修正を行なう。

また、進捗管理、成果についてはプレゼンや報告書等のドキュメントを作成する。これにより、現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する。

各回毎の授業内容

第1回

【授】履修ガイダンス（後期の履修科目の確認）

【前・後】事前：履修計画の作成。事後：履修計画の確認および履修登録。

第2回

【授】演習の内容説明。グループ分けと会社設立、企画書草案作成

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：template fileとメンバーの確認。

第3回

【授】チームビルディング：キックオフ、目的確認、役割分担、プロジェクト計画作成

【前・後】事後：プロジェクトの目的と役割の確認。プロジェクト計画の作成。

第4回

【授】プロジェクト計画の発表：グループ毎に発表し企画概要コンペ。他グループからの評価を受ける。

【前・後】事前：プロジェクト計画発表の準備。

第5回

【授】プロジェクト活動：サブページ試作品コンペ

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第6回

【授】プロジェクト活動：マップ作成・現地調査計画作成

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第7回

【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第8回

【授】中間報告発表：グループ毎中間プレゼンコンペ。他グループからの評価を受ける。

【前・後】事前：中間報告の準備。時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第9回

【授】プロジェクト活動：コンペ結果による改善計画をグループ毎に発表

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第10回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第11回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第12回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。最終成果発表の準備。

第13回

【授】最終コンペの発表準備、他社にはない特徴等アピールする

【前・後】事前：最終成果発表の準備。

第14回

【授】最終成果発表：成果物と企画の最終コンペ、教員による諸評

【前・後】事後：各自で内容の復習。

第15回

【授】夏期セミナーおよびキャリア開発に関するガイダンス。日程は前後する場合があります。

【前・後】事後：各自で内容の復習。

第16回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	10	10	10		50
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	5	5	5	10			25
成果発表（口頭・実技）	5	5	5	5	5		25
演習							
その他							

個人の評価 50%（参加姿勢 25%, 提出するドキュメント 25%）、チームの評価 50%（提出するドキュメント 25%, 成果および発表 25%）とする。

教科書参考書

テキストおよびテンプレートファイルは最初の授業時に配布する。必要な資料もその都度配布する。

受講に当たっての留意事項

- ・演習の出席が単位認定の必須条件となる

- ・授業時間の他にプロジェクト活動にある程度の時間をかけなければならない場合がある

学習到達目標

- ・プロジェクト活動について理解し、グループとしてプロジェクト計画を作成し、それにそって活動をし、一定の成果を提出する（グループで作成するドキュメントにより評価：50%）

- ・プロジェクト活動に参加することにより、チームで協力して設定した問題を解決し目標を達成していく手法を修得する（個人で作成するドキュメントにより評価：50%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410033	XYY1410033			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
PBL（経営）K6	マーティン フォックス	1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース（26年度以降）	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース（26年度以降）	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース（25年度）	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース（25年度）	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科（24年度以前）	×	×	×

授業目的

今や情報として必須の地図情報を組込んだ「主題地図コンテンツ作成計画書」を各グループにて作成し、「仕様に沿ったコンテンツ作成」という課題解決型学習を計画書のスケジュールに沿って行う。

不特定多数用のいわゆる「ガイドマップ」コンテンツ開発はできる限り避け、クライアントと使用目的を明確にした成果物の納品を最終目的とする。クライアントにどのような利益がもたらされるのか、コンペにて他グループの評価を受け、何度も計画をやり直すプロセスを演習の中心とする。

各クラス毎に5～6名のグループを構成する。グループごとに主題地図アプリ作成についての作業計画を作成し、必要な現地調査、主題地図アプリの制作、成果発表および報告書の作成を行う。

各グループでは役割分担を決め、目的に沿って作業および企画の修正を行なう。

また、進捗管理、成果についてはプレゼンや報告書等のドキュメントを作成する。これにより、現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する。

各回毎の授業内容

第1回

【授】履修ガイダンス（後期の履修科目の確認）

【前・後】事前：履修計画の作成。事後：履修計画の確認および履修登録。

第2回

【授】演習の内容説明。グループ分けと会社設立、企画書草案作成

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：template fileとメンバーの確認。

第3回

【授】チームビルディング：キックオフ、目的確認、役割分担、プロジェクト計画作成

【前・後】事後：プロジェクトの目的と役割の確認。プロジェクト計画の作成。

第4回

【授】プロジェクト計画の発表：グループ毎に発表し企画概要コンペ。他グループからの評価を受ける。

【前・後】事前：プロジェクト計画発表の準備。

第5回

【授】プロジェクト活動：サブページ試作品コンペ

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第6回

【授】プロジェクト活動：マップ作成・現地調査計画作成

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第7回

【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第8回

【授】中間報告発表：グループ毎中間プレゼンコンペ。他グループからの評価を受ける。

【前・後】事前：中間報告の準備。時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第9回

【授】プロジェクト活動：コンペ結果による改善計画をグループ毎に発表

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第10回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第11回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。

第12回

【授】プロジェクト活動：コンテンツのサーバアップ作業

【前・後】時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。最終成果発表の準備。

第13回

【授】最終コンペの発表準備、他社にはない特徴等アピールする

【前・後】事前：最終成果発表の準備。

第14回

【授】最終成果発表：成果物と企画の最終コンペ、教員による諸評

【前・後】事後：各自で内容の復習。

第15回

【授】夏期セミナーおよびキャリア開発に関するガイダンス。日程は前後する場合があります。

【前・後】事後：各自で内容の復習。

第16回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	10	10	10		50
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	5	5	5	10			25
成果発表（口頭・実技）	5	5	5	5	5		25
演習							
その他							

個人の評価 50%（参加姿勢 25%, 提出するドキュメント 25%）、チームの評価 50%（提出するドキュメント 25%, 成果および発表 25%）とする。

教科書参考書

テキストおよびテンプレートファイルは最初の授業時に配布する。必要な資料もその都度配布する。

受講に当たっての留意事項

- ・演習の出席が単位認定の必須条件となる

- ・授業時間の他にプロジェクト活動にある程度の時間をかけなければならない場合がある

学習到達目標

- ・プロジェクト活動について理解し、グループとしてプロジェクト計画を作成し、それにそって活動をし、一定の成果を提出する（グループで作成するドキュメントにより評価：50%）

- ・プロジェクト活動に参加することにより、チームで協力して設定した問題を解決し目標を達成していく手法を修得する（個人で作成するドキュメントにより評価：50%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習